

『不登校』

主任児童委員
荻原秀久



最近、会議など色々な場でよく耳にする言葉『不登校』。私も、そんなお子様を抱えた保護者の方からお話を聞く事も少なくはありません。原因も十人十色で、自分が学生の頃であれば、「何でそんな事で」みたいな内容もあります。

私の幼い頃は幸せな家庭とは程遠く、今の子供達であれば即不登校になるような環境でしたが、私はとにかく学校が楽しくて、更には友達、先生に会いたくて学校に行きました。学校が無ければ自分がどうなっていたんだろうと思う事がよくあります。



くあります。

今思えば、心の支えになつてくれた先生や友達に感謝しています。ですので、今不登校の子供は、本当に苦しい日々を送っているのだと思います。

人の質が変わつてきているというか、アナログから行き過ぎていくデジタル化、便利すぎる世の中、外に出なくても買物ができる、メール、ライン等で友達と会話ができ、人に会わなくても生活ができるこの世の中。少しずつ何かが変わってきて今がある。人も日々進化していて、今のこの状況は進化の途中の過程に過ぎないのでしょうか。まだまだ続く不登校問題。「そう言えば不登校な

んていう言葉があつたね」なんて言える日が一日でも早く来れば良いと願っています。

【一期多会】 「地区活動」

八幡町区 渡邊喜美子

民生児童委員をお預かりして、早や1年6ヶ月。不安でドキドキのスタートでしたが、ボランティア、参加者、区委員さんに応援して頂き、現在楽しく活動しております。

八幡町区は、11ヶ月間は毎月第3土曜日と決め、さまざまな活動をしております。10月だけは、第4土曜日に世代間交流の「新そば打ち大会」です。新そば打ちを体験する人と、新そばの試食に見える方と賑やかです。月々のおやつは、時季の漬物や、こねつけなど、昔ながらの素朴な感じが多いです。
30年度、第1回の4月は「春の寄せ植え」でした。9種類の中から、各自好き

な花ポットを3種類選び、鉢に植え込みます。皆さん馴れたもので、手早く、段差、彩りを考え、センス良く植えられます。家に持ち帰り、秋頃まで楽しみます。毎回、和気あいあいと口を動かし、身体や頭を働かせ良き時間を過ごされます。
5月は、中村崇先生の講話です。多くの県民に知られるエンターティナー、軽妙な語り口で大いに笑わせ、納得してしまうお話、実技指導を、区の皆さんと楽しく参加したいと思えます。



感性を研ぎ澄まし
皆さん真剣です

靴のかかたにご注目！

～高齢者見守り活動実施中～

- ★赤色ステッカーは「すぐに保護」をしてください！
- ★黄色ステッカーは「どちらへ行かれますか？」など声かけをしてください！

- ・小諸市役所
- ・小諸市地域包括支援センター
- ・小諸警察署

- 電話22-1700
- 電話26-2250
- 電話22-0110



黄色は声かけ！



赤色は保護！